

そえだ学童保育所が新しくなりました

4月から運用が始まった「そえだ学童保育所」。小学校の統合に伴い、これまであった添田・中元寺・落合の3つの学童保育所が閉所され、新たに添田公園駐車場内に建設されました。運用開始に先立ち3月26日に行われた開所式では寺西町長、高瀬教育長、中山添田小学校長らによるテープカットが行われ、児童を代表して6年生の植木唯さんがお礼の言葉を述べました。



町長室

「資産はあるが、自由なお金は少ない本町の財政の姿」
▼町では民間企業

と同様に貸借対照表をつくり、資産や負債の全体像を把握し、財政の健全性を明らかにすることで将来世代への負担や資産の老朽化を見える化し、持続可能なまちづくりに活かすこととしています。▼今回、令和7年3月31日現在で作成した貸借対照表、ホームページにも掲載しています。▼その貸借対照表から見えてくる添田町の姿と、今行っている添田町の取り組み・事業等への考え方をなるべく分かりやすく説明したいと思えます。▼冒頭表題どおり、町の財政状況については、「借金は大丈夫なのか」「まだ余裕があるのか」といったご質問をよくいただきます。▼本町の資産は約402億円、負債は約134億円、差引の純資産は約268億円となっています。▼この数字だけを見ると、「資産が多く、健全なのではないか」と感じられるかもしれませんが、確かに、借金の割合は極端に高いわけではなく、短期的な支払能力も十分に確保されています。しかし、ここで大切なのは「資産の中身」です。▼本町の資産の大半は、道路や橋、公園、公共施設などの固定資産です。これらは町民生活に欠かせない大切な財産ですが、自由に売ったり使ったりできるものではありません。さら

に、これらの多くは年月の経過とともに老朽化が進んでおり、今後は修繕や更新に多くの費用が必要となります。▼一方で、自由に使えるお金の状況を見ると、決して余裕があるとは言えません。いわば「大きな家を持っているが、手元の生活費には余裕がない」というような状態です。このため、新しい事業を始める際には、何かを見直し、優先順位をしっかりとつけていく必要があります。▼こうした状況を踏まえ、本町ではこれからのまちづくりにおいて「集約と選択」を重要な柱として進めています。▼老朽化した施設の整理や統合を進め、将来の負担を軽減するとともに、子育てや福祉、防災など、本町に必要な分野に重点的に投資していきます。また、英彦山をはじめとした観光や地域資源の活用についても、一度に大きな投資を行うのではなく、小さくはじめて段階的に発展させる「持続可能な取り組み」を重視していきます。▼財政は町の将来を支える土台です。今ある資産を大切にしながら、無理のない運営を続けていくことが、次の世代への責任でもあります。町民の皆様には、こうした現状をご理解いただきながら、「みんなでまちづくり」という思いを共有し、ともに歩んでいただければ幸いです。今後ともご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



発行/添田町 編集/総務課
〒824-0691 福阿黒田川郡添田町大字添田 21-51 番地
☎0947-82-1231 FAX0947-82-2869
ホームページ: https://www.town.soeda.tokunokai.jp